

五十六

為ノ地盤ニ動搖ヲ来スノ憂無之候ヘハ測量臺ヲ設
置スルハ該地ノ右ニ出ルモ無之且保存ノ點ヨリ考
フルモ無用ヲ轉シテ有用トナシ永續保存候ヘハ可
然儀トモ被存候ノミナラス該地ニ設置スル片ハ費
用上終始大ニ節減ヲ生シ可申ニ付旁該地ハ現今當
省所轄地ノ儀ニモ有之候間天守臺地ヘ測量臺設置
候様致シ度依テ因面相添此段相同候條至急御裁可
ヲ仰キ候也 十三年六月十一日
伺ノ起開届候事 十四年六月十一日

陸軍省上答

別紙内務省伺測量臺位置ノ儀ニ付御下問ノ趣致承
仕候右ハ當省ニ於テ差問無之候間旧本九天守臺ヘ
設置相成可然此段及上答候也 十三年六月廿一日

内務部議案 軍事部審査

別紙内務省伺測量臺位置ノ儀ヲ按スルニ旧本九天
守臺ヲ以テ測量臺ニ相用候儀ハ至極便宜ト存候
間御間届相成可然哉仰高裁候也 十三年六月十五日
測量臺轉移建築ノ儀ハ當時費用節減ノ折柄ニ付建
築轉移取止メ置可然當時測量臺ニ於テ實測出来可申
候ニ付御間届不相成事 十四年六月十五日

内務部議案

別紙内務省伺測量臺位置變更ノ儀ニ関シテハ主務
ノ官吏ニ付實際ヲ諮詢シ其更革ノ理由ヲ查明シテ
更ニ上禀スヘキノ旨アリ依テ查スルニ旧本九天守
臺ノ地タル四望開豁周圍濠堙車馬往來ノ為メニ絶
テ動搖ノ患ナク其築營ノ日ヨリ今ニ至ルマテ殆ニ

ト三百年ノ久シキヲ經ルモ猶地平坦然曾テ参差高
低ヲ生セシメナシ地盤ノ鞏固ナル所シテ疑ヲ容レ
サルナリ而シテ顧テ紀尾井町ヲ問ハ則其地道路ニ
接近シ地盤ノ鞏固ナラサル常ニ震動ノ虞アリト云
フ他日觀象臺ヲ建造シ学科上ノ事業ヲ執行セント
スルニ當テハ必ス其地盤ヲ修營セサルヲ得スルナリ
修營セント欲スルトキハ無算ノ費額ヲ要スルナリ
抑モ彼是ヲ考較スルトキハ其優劣得失ノ差何ノ常
ニ天壤ノミナラシ寧口此ヲ捨テ彼ヲ取ルノ利アル
豈ニ復タ微辨ヲ待タレヤ是レ則今回内務省測量位
置更革ノ議アル所以ナリ蓋シ内務省ノ本議ヲ起ス
ル今且ニ觀象臺ヲ築營セント欲スルニ非ス惟タ遠
ク將來ノ利害ヲ慮リ豫メ觀象ノ臺地ヲ定メ機熟シ

時至ルノ日ヲ待テ更ニ具申シ命ヲ得テ後テ漸次事
ヲ施サントスルニ在リ是以測量事務所ノ如キモ客
年裁可ヲ經テ六千圓ヲ費額ト定メ材料ヲ蒐集シテ
新築ノ準備既ニ整頓スト雖モ今ヤ内務省深ク費用
節制ノ大要ニ注意シ將ニ翻然新築ノ前議ヲ捨テ城
郭内現存ノ旧厦ヲ流用スルノ新案ヲ起シ以テ今日
ノ需用ヲ塞カントスルニ要スルニ本議ハ惟タ位置
更革ノ裁可ヲ請フニ止マリテ其事毫モ費用ニ推及
スルモノニ非ルナリ今若シ位置更革ノ事許スヘカ
ラストスル時ハ較下ノ廣大ナルモ恐クハ測量課ヲ
察ルハノ地ナキニ至ルヘシ

前議ニ依リ紀尾井町ニ復セン乎是レ地盤ノ鞏固ナ
ラサル勦掘ノ被害アリ無算ノ費額ヲ要スルナリ然

ラハ則チ葵町ニ歸ラニ乎是レ又地盤ニ高低アリ地
形紀尾井町ニ下ルヲ数等加フルニ該地素ト備外國
人ノ居館地ニ備ヘタルモノニシテ現ニ地質探検ノ
為ニ備入タル外國人四名ヲシテ爰ニ住居セシムルニ
因リ今之ヲ流用セントスル時ハ地ニ其居館ヲ覓ム
ルノ外ナシ而シテ彼ノ四名ニ給スヘキ宿料ハ一ケ
月一名ニ付五拾圓ト假算スルモ猶一ケ年四人分總
計貳千四百圓ヲ要ス之ヲ其任期五ケ年ニ乗算スレ
ハ乃チ一万貳千圓ノ巨額ニ達スルナリ然ラハ則チ六
千圓内外ノ少額ヲ以テ内務省前議ノ通り新築ヲ奉
行シ以テ其巨額費消ノ途ヲ塞クノ益ヲ執ラサルヲ
得ス況ンヤ宿料ニ費スノ巨額ハ全ク消耗シテ其跡
ヲ遺リハルモ六千圓ヲ費ス所ソモノハ十年ノ後猶

幾千欸其現品ヲ存留スヘキニ於テヲマ假令本議ノ
行ハレサルトモ内務省ノ前議ニ従スヘカラサルノ
事情夫レ此ノ如ク止ムヲ得サルモノアリ然ルニ本
議ヲ以テ果シテ許スヘカラストスル時ハ内務省其
務ヲ執ルノ任アリテ其事ヲ施スノ地ナシ該省願ル
該前案後ノ感ナキ能ハサルナリ依テ主務官吏ニ就
テ諮詢セシモノ、要領ヲ採摘シ本部ノ意見ヲ附加
シテ以テ前案ノ通り御裁可相成ラニテ乞フ
月廿六日 十三年六